

外国語 年間指導計画

校長印	教頭印
-----	-----

担当 Aクラス
 BIクラス(2組)
 BIクラス(3組)

印
 印
 印

「コミュニケーション英語 I」	単位数	4単位	学科	普通科	学年・学級	第1学年 2組～3組
-----------------	-----	-----	----	-----	-------	------------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
使用教科書、副教材など	「Power On Communication English I」(コ I 302)

2. 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい	考査 範囲	評価の観点のポイント			
					コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解
1	4	Lesson 1 Greetings around the World 世界のあいさつ	[題材] 真の国際交流のための世界のあいさつについて学ぶ。また、国や文化によってさまざまなあいさつのジェスチャーがあることを理解する。 [言語材料] 動名詞 / S + V + O [=that 節] / 不定詞	第1学期 中間考査	世界のあいさつについて関心と課題意識を持ち、意欲的に聞いたり読んだりしている。ペアで協力しながら相づちを打つ表現を用いた対話に取り組んでいる。間違いを恐れずに、積極的に相手や状況に応じたあいさつについて発表している。	相手の話に相づちを打つことができる。相手や状況によってどのようなあいさつをするかを書いたり話したりできる。本文の要約を強勢に注意して音読できる。英語の長母音と短母音を区別して発音できる。	世界のあいさつについて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	世界のあいさつについての正しい知識を持っている。あいさつを説明する語句や文法事項を身につけている。相手の好みや気持ち、提案に対して相づちを打つ表現(Really? Sounds good. など)の使い方を理解している。
	5	Lesson 2 Is Our Food Culture Strange? 日本の食文化	[題材] 世界の食文化と比較しながら、卵料理を例として日本の食文化について考える。 [言語材料] 受け身 / S + V [=be 動詞以外] + C / 助動詞		日本の生食文化について関心を持ち、その歴史や背景について意欲的に聞いたり読んだりしている。ペアで協力しながら誘う表現を用いた対話に取り組んでいる。間違いを恐れずに、積極的に海外の食文化について意見を述べている。	自分の好きな料理について相手に薦めることができる。海外の食文化について、自分の考えを述べることができる。本文の要約を強勢に注意して音読できる。英語の二重母音と単母音を区別して発音できる。	卵料理や日本の生食文化について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	世界の食文化と比較して日本の生食文化について理解している。食文化の説明に用いられる語句や文法事項を身につけている。対話文の特徴を理解している。誘う表現(Why don't you? など)の使い方を理解している。
6		Lesson 3 Miyazato Ai - Her Challenge for Her Dream プロゴルファー宮里 藍選手	[題材] 日本を代表するプロゴルファー宮里藍選手の生い立ちを読み、世界で活躍する選手になるまでの道のりについて学ぶ。 [言語材料] 進行形 / 名詞 + S + V (+ ...) / S + V + O [=疑問詞+ to 不定詞]	第1学期 期末考査	宮里藍選手の人生について関心を持ち、生い立ちについて意欲的に聞いたり読んだりしている。ペアで協力しながら因果関係を説明する表現を用いた対話に取り組んでいる。間違いを恐れずに、積極的に将来つきたい職業について書いている。	所属していたクラブと得意なことについて、因果関係を説明する表現を用いて話すことができる。将来つきたい職業について書くことができる。本文の要約を音のつながりに注意して音読できる。英語の母音を区別して発音できる。	宮里藍選手の生い立ちについて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	宮里藍選手の生い立ちについて理解している。人物の生い立ちの説明に用いられる語句や文法事項を身につけている。因果関係を説明する表現(As a result など)の使い方を理解している。

7	Lesson 4 Sleep in Animals 動物の睡眠	[題材] 動物の睡眠についての説明文を読み、その特性について学ぶ。 [言語材料] 比較表現 / S + V + O ₁ + O ₂ [= 疑問詞 + to 不定詞] / 分詞の形容詞用法	動物の睡眠について関心を持ち、動物の眠り方について意欲的に聞いたり読んだりしている。ペアで協力しながら例示する表現を用いた対話に取り組んでいる。間違いを恐れずに、積極的に動物たちの睡眠時間について意見や感想を述べている。	好きな動物について、例示する表現を用いて話すことができる。本文やグラフを読み、動物たちの睡眠時間を比較して、意見や感想を述べることができる。本文の要約を聞こえなくなる音に注意して音読できる。英語の母音を区別して発音できる。	動物の睡眠について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	動物の睡眠の特徴について理解している。事実の説明に用いられる語句や文法事項を身につけている。例示する表現 (For example など) の使い方を理解している。
コラム 1 英語のパラグラフ	英語のパラグラフの構成を学ぶ。	英語のパラグラフの構成に関心を示し、理解しようとしている。	/	英語のパラグラフにおいて、主題文、支持文、結論文を区別し、働きを説明することができる。	主題文、支持文、結論文の働きを理解している。	
Communication Activity 1 日本文化を紹介しよう 1	日本の行事の説明を聞いたり、年中行事の紹介文を考え発表したりする。	日本の行事の説明を未知の語句があっても推測しながら聞いている。ペアまたはグループで協力しながら、日本の年中行事について既知の表現を用いて説明しようとしている。		適切な声の大きさと相手とアイコンタクトをしながら、日本の年中行事について発表することができる。転換語や例示する表現を用いて、日本の年中行事を説明することができる。	日本の行事の説明を聞いて、概要や要点を理解することができる。	日本の行事を説明するために必要な内容 (いつ、何を、なぜするか) を理解している。転換語 (First, Next など) や例示する表現 (For example など) の使い方を理解している。
【課題・提出物等】ワークブックを家庭学習の課題とする。相手や状況に応じたあいさつについての英文、海外の食文化についての意見の英文、将来つきたい職業についての英文、動物たちの睡眠時間を比較し意見や感想を加えた英文、英語のパラグラフの分析、日本の年中行事の英語の説明文						
<p>【第 1 学期の評価方法】</p> <p>①教室を巡回してペア・ワークの取り組み状況を観察する。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 相づちを打つ表現 (Lesson 1) / 誘う表現 (Lesson 2) / 因果関係を説明する表現 (Lesson 3) / 例示する表現 (Lesson 4) / 日本の年中行事の発表の準備 (Communication Activity 1)</p> <p>②課題で提出した英文及び発表を評価する。(外国語表現の能力) 相手や状況に応じたあいさつ (Lesson 1) / 海外の食文化についての意見 (Lesson 2) / 将来つきたい職業についての英文 (Lesson 3) / 動物たちの睡眠時間の比較とそれについての意見や感想 (Lesson 4) / 日本の年中行事の発表 (Communication Activity 1)</p> <p>③本文の要約の音読を教員または生徒同士が評価する。(外国語表現の能力) 強勢に注意して音読 (Lesson 1, 2) / 音のつながりに注意して音読 (Lesson 3) / 聞こえなくなる音に注意して音読 (Lesson 4)</p> <p>④ロールプレイで以下の表現ができるかインタビューテストをする。(外国語表現の能力) 相づちを打つ表現 (Lesson 1) / 誘う表現 (Lesson 2) / 因果関係を説明する表現 (Lesson 3) / 例示する表現 (Lesson 4)</p> <p>⑤本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを、筆記テストまたはインタビューテストをする。(外国語理解の能力) 世界のあいさつ (Lesson 1) / 卵料理や日本の生食文化 (Lesson 2) / 宮里藍選手の生い立ち (Lesson 3) / 動物の睡眠 (Lesson 4) / 英語のパラグラフの構成 (コラム 1) / 日本の年中行事 (Communication Activity 1)</p> <p>⑥下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。(言語や文化についての知識・理解) あいさつ (Lesson 1) / 食文化 (Lesson 2) / 人物の生い立ち (Lesson 3) / 動物の睡眠 (Lesson 4) (表現は①と同じ)</p>						

2	9	Lesson 5 <i>Kawaii</i> and Pop Japanese Culture 世界に広まる日本のポップカルチャー	[題材] 海外で「カワイイ」という日本語がどのように理解され、日本のポップカルチャーがどのように見られているか学ぶ。 [言語材料] 関係代名詞 <i>who</i> / 関係代名詞 <i>which</i> / 現在完了形	第2学期中間考査	海外での「カワイイ」という日本語の使われ方や日本のポップカルチャーに関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりしている。 ペアで協力しながら好きという気持ちを表す表現を用いた対話に取り組んでいる。 間違いを恐れずに、積極的に日本のポップカルチャーを紹介する文を書いたり発表したりしている。	好きな食べ物について話すことができる。 日本のポップカルチャーについての紹介文を書いて発表することができる。 本文の要約を音のつながりに注意して音読できる。 英語の長母音を区別して発音できる。	日本のポップカルチャーについて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	海外での「カワイイ」という言葉の理解のされ方や、日本のポップカルチャーについて理解している。 日本のポップカルチャーを説明する語句や文法事項を身につけている。 好きという気持ちを表す表現 (<i>love</i> など) の使い方を理解している。
	10	Lesson 6 <i>Ogasawara Laboratory of Evolution</i> 小笠原諸島の多様な生態系	[題材] 小笠原諸島の地理や生態系について学ぶ。 [言語材料] S + V + O [= <i>what</i> などの節] / 助動詞 + 受け身 / <i>It is</i> [<i>was</i>] + 形容詞 (+ <i>for</i> ...) + <i>to</i> 不定詞		小笠原諸島の地理や生態系について関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりしている。 ペアで協力しながら推論する表現を用いた対話に取り組んでいる。 間違いを恐れずに、積極的に小笠原諸島の気候、地理、自然、文化などについての観光案内を英語で書いている。	推論する表現を用いて、話すことができる。 小笠原諸島の気候、地理、自然、文化などについての観光案内を英語で書くことができる。 本文の要約を音のつながりに注意して音読できる。 英語の長母音と単母音を区別して発音できる。	小笠原諸島の地理や生態系について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	小笠原諸島の地理や生態系について理解している。 小笠原諸島の地理や生態系などを説明する語句や文法事項を身につけている。 推論する表現 (<i>Maybe</i> など) の使い方を理解している
	11	Lesson 7 <i>Furoshiki - The Magic Cloth</i> 日本の伝統文化、ふろしき	[題材] 日本の伝統文化であるふろしきの機能性、由来、魅力について学ぶ。 [言語材料] 現在完了進行形 / S + V + O ₁ + O ₂ [= <i>what</i> などの節] / 関係副詞 <i>when</i>	第2学期期末考査	日本の伝統文化であるふろしきに関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりしている。 ペアで協力しながら手順を示す表現を用いた対話に取り組んでいる。 間違いを恐れずに、積極的に環境保護のためにできる身近なことを書いたり発表したりしている。	卵かけご飯の作り方について、手順を示す表現を用いて話すことができる。 環境保護のためにできる身近なことを書いて発表することができる。 本文の要約をイントネーションに注意して音読できる。 英語の母音を区別して発音できる。	日本のふろしきについて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。 環境保護に関する友達の意見を聞いて要点をとらえることができる。	日本の伝統文化であるふろしきの機能性、由来、魅力について理解している。 日本のふろしきの機能性、由来、魅力について説明する語句や文法事項を身につけている。 手順を示す表現 (<i>First</i> など) の使い方を理解している。
	12	Lesson 8 <i>The Emerald Isle</i> エメラルドの島、アイルランド	[題材] アイルランドがエメラルドの島と呼ばれる理由や、その文化、歴史、風習について学ぶ。 [言語材料] S + V [= <i>be</i> 動詞] + C [= <i>that</i> 節] / <i>It is</i> [<i>was</i>] + 名詞 [形容詞など] + <i>that</i> 節 / 関係副詞 <i>where</i>		アイルランドの歴史や文化に関心を持ち、意欲的に聞いたり読んだりしている。 ペアで協力しながら理由を述べる表現を用いた対話に取り組んでいる。 間違いを恐れずに、積極的にアイルランドの文化、人物、歴史などを紹介する文を書いている。	理由を述べる表現を用いて話すことができる。 アイルランドの文化、人物、歴史などについての紹介文を書くことができる。 本文の要約を強勢に注意して音読できる。 英語の二重母音と長母音を区別して発音できる。	アイルランドの文化、歴史、風習について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。	アイルランドの文化、歴史、風習について理解している。 アイルランドの文化、歴史、風習について説明する語句や文法事項を身につけている。 理由を述べる表現 (<i>The reason is that</i> など) の使い方を理解している。

		コラム2 つながりを示す語句 1	対比, 対立, 譲歩, 例示などの文と文を 結びつける語句につ いて学ぶ。	文と文を結びつ ける語句につい て関心を示し, 理 解しようとして いる。	対比, 対立, 譲歩, 例示などのつな がり示す語句 を適切に使うこ とができる。	つながりを示す 語句に注意して 文章を読み, 論理 がどのように展 開しているか把 握できる。	対比, 対立, 譲歩, 例示などのつな がり示す語句 を理解している。
		Communication Activity 2 日本文化を紹介しよ う2	日本の人名につい てのスピーチを聞 いたり, 日本の文 化についてのス ピーチを考え発 表したりする。	日本の人名につ いてのスピーチ を, 聞き取れな い箇所があつて も推測しながら 聞いている。 今まで習った表 現を活用して, 間 違いを恐れずに, 積極的に日本の 文化について話 そうとしている。	適切な速さや声 の大きさで, 日 本の文化につ いて発表するこ とができる。 手順を示す表現, 理由を述べる表 現を用いて, 日 本の文化につ いて話すことが できる。	日本の人名につ いてのスピーチ を聞いて, 概要や 要点を理解する ことができる。	日本の文化を説 明するために必 要な内容(どのよ うなもの, どのよ うな場面, 海外と の比較)を理解し ている。 手順を示す表現 や理由を述べる 表現の使い方を 理解している。
		【課題・提出物等】ワークブックを家庭学習の課題とする。日本のポップカルチャーを紹介する英文, 小笠原諸島の気候, 地理, 自然, 文化などを説明した英文, 環境保護のためにできる身近なことについての英文, アイルランドの文化, 人物, 歴史などについて説明した英文, つながりを示す語句に注意した日本語訳, 日本の文化の英語の説明文					
		【第2学期の評価方法】 ⑦教室を巡回してペア・ワークの取り組み状況を観察する。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 好きという気持ちを表す表現 (Lesson 5) / 推論する表現 (Lesson 6) / 手順を示す表現 (Lesson 7) / 理由を述べる表現 (Lesson 8) / 日本の文化のスピーチの準備 (Communication Activity 2) ⑧課題で提出した英文及び発表を評価する。(外国語表現の能力) 日本のポップカルチャーの紹介 (Lesson 5) / 小笠原諸島の気候, 地理, 自然, 文化の説明 (Lesson 6) / 環境保護のためにできる身近なことについての発表 (Lesson 7) / アイルランドの文化, 人物, 歴史についての説明 (Lesson 8) / 日本の文化のスピーチ (Communication Activity 2) ⑨ 文の要約の音読を教員または生徒同士が評価する。(外国語表現の能力) 音のつながりに注意して音読 (Lesson 5,6) / イントネーションに注意して音読 (Lesson 7) / 強勢に注意して音読 (Lesson 8) ⑩ロールプレイで以下の表現ができるかインタビューテストをする。(外国語表現の能力) 好きという気持ちを表す表現 (Lesson 5) / 推論する表現 (Lesson 6) / 手順を示す表現 (Lesson 7) / 理由を述べる表現 (Lesson 8) ⑪本文の内容について読んだり, 聞いたりしたことを, 筆記テストまたはインタビューテストをする。(外国語理解の能力) 日本のポップカルチャー (Lesson 5) / 小笠原諸島の地理や生態系 (Lesson 6) / 日本のふるしき (Lesson 7) / アイルランドの文化, 歴史, 風習 (Lesson 8) / つながりを示す語句 (コラム2) / 日本の人名についてのスピーチ (Communication Activity 2) ⑫下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。(言語や文化についての知識・理解) 日本のポップカルチャー (Lesson 5) / 小笠原諸島の地理や生態系 (Lesson 6) / 日本のふるしきの機能性, 由来, 魅力 (Lesson 7) / アイルランドの文化, 歴史, 風習 (Lesson 8) (表現は⑦と同じ)					
3	1	Lesson 9 The Power to Unite People ネルソン・マンデラ氏 と南アフリカ	[題材] 南アフリカの人種 隔離政策の歴史と ネルソン・マンデ ラ氏がどのように国 をひとつにまとめ ようとしたかにつ いて学ぶ。 [言語材料] 過去完了形 / 未来 進行形 / 分詞構文 (現在分詞)	第 3 学 期 末 考 査	南アフリカの人種 隔離政策の歴史と ネルソン・マンデ ラ氏に関心をもち, 意欲的に聞いたり 読んだりしている。 ペアで協力しながら 望む表現を用いた 対話に取り組んで いる。 間違いを恐れず に, 積極的にマン デラ氏の言葉につ いての自分の考え を書いたり発 表したりしている。	望む表現を用いて 話すことができる。 マンデラ氏の言葉 についての自分の 考えを書いたり話 したりすることが できる。 本文の要約を強勢 に注意して音読で きる。 英語の母音を区別 して発音できる。	南アフリカの人 種隔離政策の歴 史とネルソン・ マンデラ氏の活 動について理解 している。 南アフリカの人 種隔離政策の歴 史とネルソン・ マンデラ氏の活 動について説明 する語句や文法 事項を身につけ ている。 望む表現 (hope to など) の使い 方を理解してい る。
	2	Lesson 10 Knut, the Polar Bear 人間に育てられたホ ッキョクグマのクヌ ートと地球温暖化	[題材] 動物園で育てられ たホッキョクグマ のクヌートがどの ように成長し, 人々 にどのようなこと を覚えてくれたか について学ぶ。 [言語材料] wish + 仮定法過去 / S + V [=知覚動詞] + O + C [=現在分 詞] / S + V + O1 + O2 [=that節]		ホッキョクグマの クヌートの成長や 環境問題に関心を もち, 意欲的に聞 いたり読んだりし ている。 ペアで協力しながら 望む表現を用いた 対話に取り組んで いる。 間違いを恐れず に, 積極的に人工 哺育の是非につ いての自分の意見 を発表している。	望む表現を用いて 話すことができる。 人工哺育の是非に ついての自分の意 見を述べるこ とができる。 本文の要約を音の つながりに注意し て音読できる。 英語の二重母音を 区別して発音で きる。	ホッキョクグマ のクヌートの成 長や環境問題に ついて理解して いる。 クヌートの成長 や環境問題につ いて説明する語 句や文法事項を 身につけている。 望む表現 (wish ... were ~ など) の使い方を理解 している。

3	コラム3 つながりを示す語句 2	理由, 原因, 結果, 追加などの文と文を 結びつける語句につ いて学ぶ。		文と文を結びつ ける語句につい て関心を示し, 理 解しようとして いる。	理由, 原因, 結果, 追加などのつな がりを示す語句 を適切に使うこ とができる。	つながりを示す 語句に注意して 文章を読み, 論理 がどのように展 開しているか把 握できる。	理由, 原因, 結果, 追加などのつな がりを示す語句 を理解している。
	Communication Activity 3 E-mail でお礼状を書 こう	e-mail を利用してホ ストファミリーへお 礼状を書く。		間違いを恐れず に, 積極的に e-mail でホスト ファミリーへの お礼状を書こう としている。	e-mail でホスト ファミリーへの お礼状を書くこ とができる。	e-mail でのホス トファミリーへ のお礼状の内容 を的確に読みと ることができる。	e-mail によるお 礼状の文体や特 徴を理解してい る。 e-mail を利用し てホストファミ リーへお礼状を 書くために必要 な表現を身につ けている。
【課題・提出物等】ワークブックを家庭学習の課題とする。マンデラ氏の言葉についての自分の考えの英文, 人工哺育の是非についての意見の英文, つながりを示す語句を用いた練習問題, e-mail でのホストファミリーへのお礼状							
【第3学期の評価方法】							
⑬教室を巡回してペア・ワークの取り組み状況を観察する。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 望む表現 (Lesson 9, 10)							
⑭課題で提出した英文及び発表を評価する。(外国語表現の能力) マンデラ氏の言葉についての自分の考え (Lesson 9) / 人工哺育の是非についての意見 (Lesson 10) / e-mail でのホストファミリーへのお礼状 (Communication Activity 3)							
⑮本文の要約の音読を教員または生徒同士が評価する。(外国語表現の能力) 強勢に注意して音読 (Lesson 9) / 音のつながりに注意して音読 (Lesson 10)							
⑯ロールプレイで以下の表現ができるかインタビューテストをする。(外国語表現の能力) 望む表現 (Lesson 9, 10)							
⑰本文の内容について読んだり, 聞いたりしたことを, 筆記テストまたはインタビューテストをする。(外国語理解の能力) 南アフリカの人種隔離政策の歴史とネルソン・マンデラ氏の活動 (Lesson 9) / ホッキョクグマのクヌート成長や環境問題 (Lesson 10) / つながりを示す語句 (コラム3)							
⑱下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。(言語や文化についての知識・理解) 南アフリカの人種隔離政策の歴史とネルソン・マンデラ氏の活動 (Lesson 9) / ホッキョクグマのクヌートの成長や環境問題 (Lesson 10) (表現は⑬と同じ)							